

J. F. Oberlin University

コロナ禍における桜美林大学図書館の
オンラインガイダンス・イベント実施について

2021.10.25

2021年度私立大学図書館協会東地区部会研修会

図書館メディアセンター
鬼沢恵子／糸数ナンシー美香

発表者紹介

鬼沢恵子（入職11年目）

- 2011.4 桜美林大学 図書館入職
情報サービス課
以降 閲覧業務・情報システム業務・庶務業務等を担当
- 2015 私立大学図書館協会事務局

糸数ナンシー美香（入職20年目）

- 2002.4 桜美林大学 外国語教育センター入職 ELP（English Language Program）事務室
- 2005.10 教務課学事係
- 2009.3 図書館事務課 逐次刊行物担当
- 2013.4 図書館閲覧担当
- 2015-2016 私立大学図書館協会事務局
- 2016.3 図書館資料受入統括・資料費予算の管理・図書イベント企画・運営
- 2021.6 図書館メディアセンター 係長（資料受入全般、予算管理、マネジメント業務）

本日の内容

私立大学図書館協会東地区部会 研修会

1

桜美林大学・桜美林大学図書館の紹介

2

ガイダンス・イベント実施環境について

3

ガイダンス実施状況

4

図書館でオンラインイベント
「図書館で45分留学」「図書館で異文化交流」

5

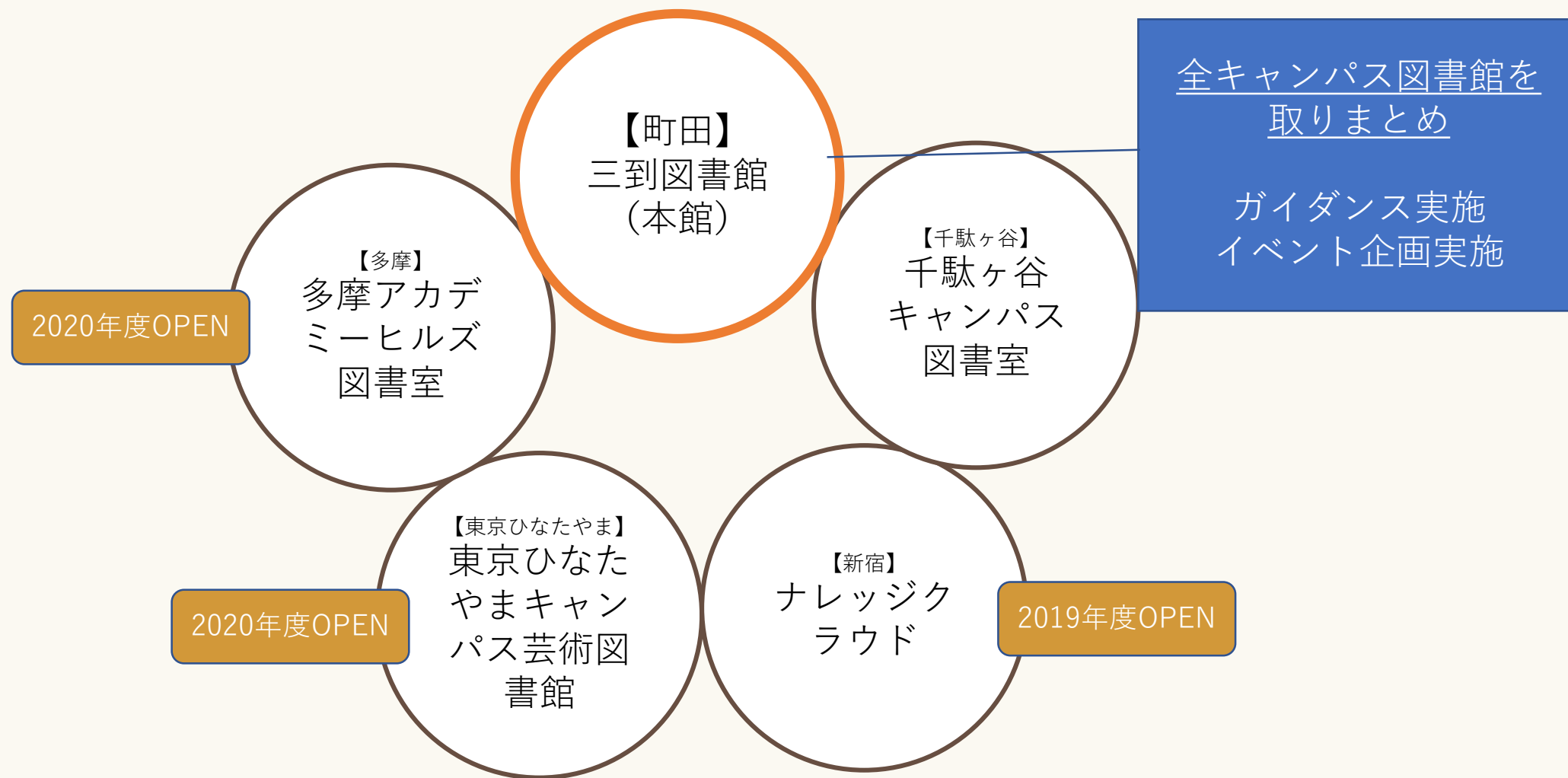
今後の展望

1 桜美林大学・桜美林大学図書館の紹介

桜美林大学

- 1921(大正10)年 創立者 清水安三が中国・北京に創設した崇貞学園を源流とするキリスト教主義の大学
- 学生数：学群生 9,983名 / 大学院生 272名
- 学群およびキャンパス：
 - 町田キャンパス：リベラルアーツ (LA) 学群・健康福祉学群
グローバル・コミュニケーション (GC) 学群
 - 千駄ヶ谷キャンパス：大学院
 - 新宿キャンパス：ビジネスマネジメント (BM) 学群
 - 東京ひなたやまキャンパス：芸術文化学群
 - 多摩キャンパス：航空・マネジメント学群

1 桜美林大学・桜美林大学図書館の紹介



2 ガイダンス・イベント実施環境について

接続環境： Zoom

- 全学の授業や学生のオンライン対応を全てZoomで一本化
- 全キャンパスの教室、教員研究室、各部署にZoomアカウントを付与・配布

接続機器：ノートPC（カメラ・マイク付き）

- 働き方改革の一環でコロナ前から全職員にノートPCを貸与済

**オンライン対応への接続方法一本化 & 全学的に設備が整ったため
一気にオンラインへ移行**

ガイダンス・イベント開催：



3 ガイダンス実施状況

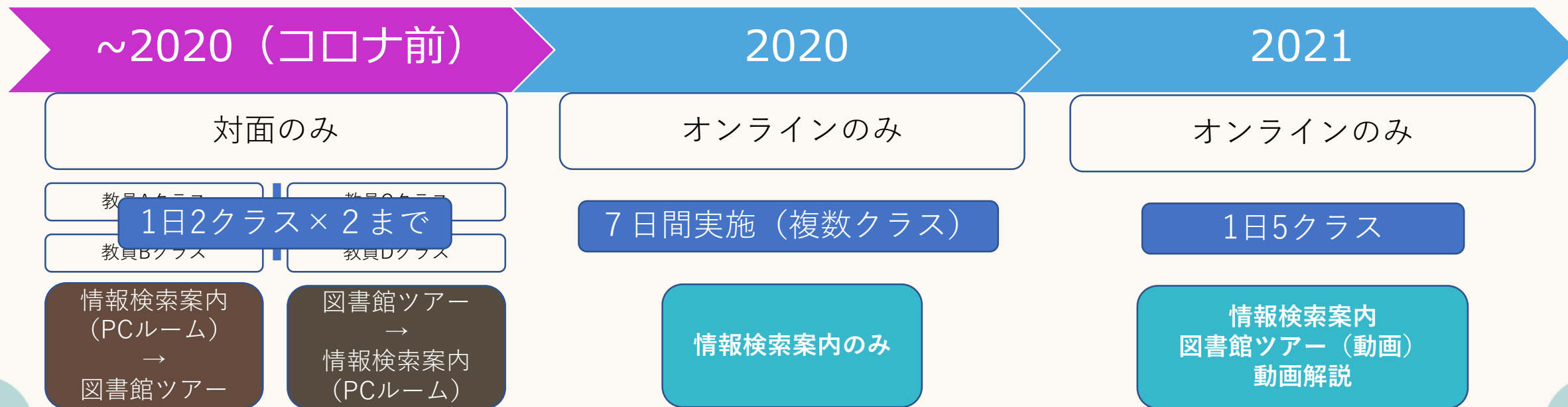
2020~2021にオンラインで実施したガイダンス

- ・ 新入生オリエンテーション：3学群＋院生
各学群＋院のオリエンテーションで簡単な利用説明
- ・ 新学期ガイダンス（初級編20分・論文作成編45分）
- ・ 専攻演習（3年生ゼミ論）
- ・ オンラインデータベースガイダンス
- ・ **リベラルアーツセミナー**（通称：LAセミナー）
（リベラルアーツ学群1年生向け）
- ・ 日本語コミュニケーションⅠ（芸術文化学群1年生向け）

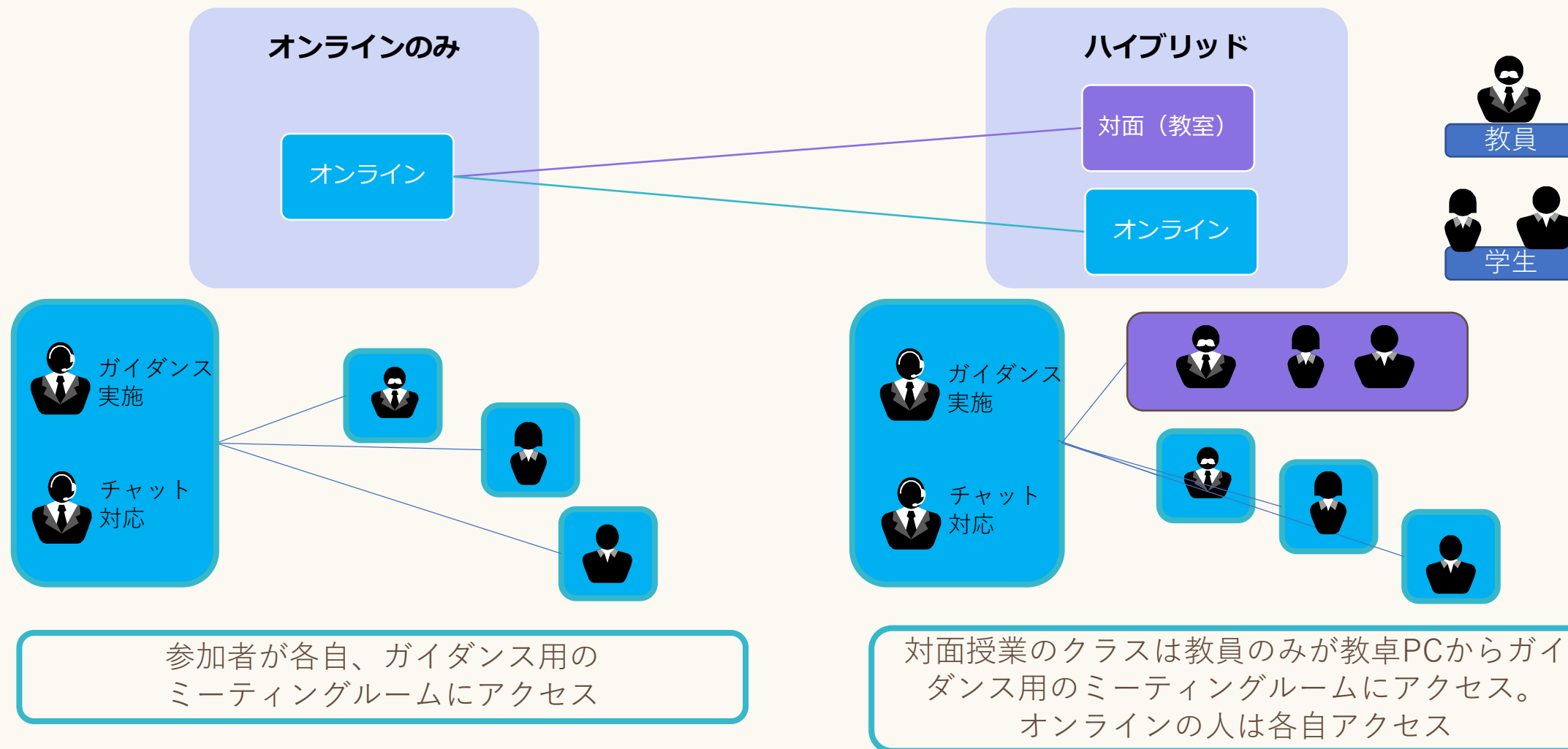
3 ガイダンス実施状況

リベラルアーツセミナー（リベラルアーツ学群1年生向け）

・リベラルアーツ学群の1年生（約950人）が1クラス15名程度に振り分けられ、担当の教員に大学の学修基礎を学ぶ。オプションとして、図書館ガイダンスを1コマ選択可能（約90%の教員が採用）。



3 ガイダンス実施状況



3 ガイダンス実施状況

情報検索

図書館ツアー
(動画視聴)

動画解説

Q & A

PPT資料での利用案内

+

Zoomの画面共有機能を利用しながら

図書館HP・

OPAC・データベースの学外利用方法を説明



3 ガイダンス実施状況



作成した図書館ツアー
の動画URL(YouTube)
をチャットで流す

↓
学生が各々視聴

↓
視聴後、チャットで
zoomに戻ってきたこと
を連絡



約6分間

3 ガイダンス実施状況

情報検索

図書館ツアー
(動画視聴)

動画解説

Q & A

YouTubeを画面共有し、視聴動画画面を静止画の状態に切り替えて、要所要所で説明

→ ガイダンスを録画し、学内関係者のみ閲覧可能なWebページにアップ



3 ガイダンス実施状況

メリット



- 移動距離ゼロ！（自宅からでもガイダンスできる）
- 出席できなかった人にも案内可能
- 以前より多くのクラスに対してガイダンスを実施
- 大学の授業実施形態に拠らずに実施可能
- 海外からもアクセス可能
- 感染リスク回避

デメリット



- カメラOFFのため、学生のリアクションが見えない（講師役の職員のテンションが上がらない）
- 学生のOPAC検索状況やデータベースへのアクセス状況が確認できない
- インターネットの回線状況に左右される（音声、画像）
- 複数教員の担当する学生が入るため、会話が混線する
- すぐに対処できないことが突然起こる
- 講師が操作に慣れるまでが大変
- なぜか対面よりも疲れる

3 ガイダンス実施状況：まとめ

現在桜美林大学は対面授業の全面再開を目指しているが、
図書館員が他キャンパスに出向き、対面でのガイダンスに戻す
ことは難しい。

そのため図書館としてはオンラインでのガイダンスも継続してい
きたいと考え、教員のニーズに応じて柔軟に対応していきたい。

4 図書館で45分留学

「図書館で45分留学」とは

- * 留学先で必ず体験するような場面を想定した英会話のセッション
- * 説明も含めすべて英語で行う
- * 図書館の資料の案内や、海外でも使えるデータベースなどにも親しんでもらう



4 図書館で45分留学

「図書館で45分留学」は2018年春より本格的にスタート

- * 2018-2019（アクティブラーニング、月に2～3回のペース）
- * 2020 ～ （オンライン開催、月に2回のペース）

【背景】 本学の中期目標に沿ってより多くの留学生を派遣するという本学の動きに対し、当時図書館で何ができるか？

留学に行く前の準備として図書館で所蔵しているたくさんの語学学習の資料を促す前に学生が自ら「勉強しなきゃ」「もっと調べなきゃ」と思わなければ、利用しないため「気づき」を与えることが大事である

- * プチ留学を体験させて、自分の弱点に気づけば、どこに力を入れるべきかが分かる
- * ネイティブの先生に協力してもらう

【学内の連携・協力】

- * 本学の国際交流担当部署との連携
- * 本学の創立者である清水安三の留学先、米国オハイオ州のOberlin Collegeからアジア各国の交流を進めているNPO団体「Oberlin Shansi」を通じて、卒業生を3名を迎え英語教員として2年間、本学で教えている

図書館で45分留学の様子

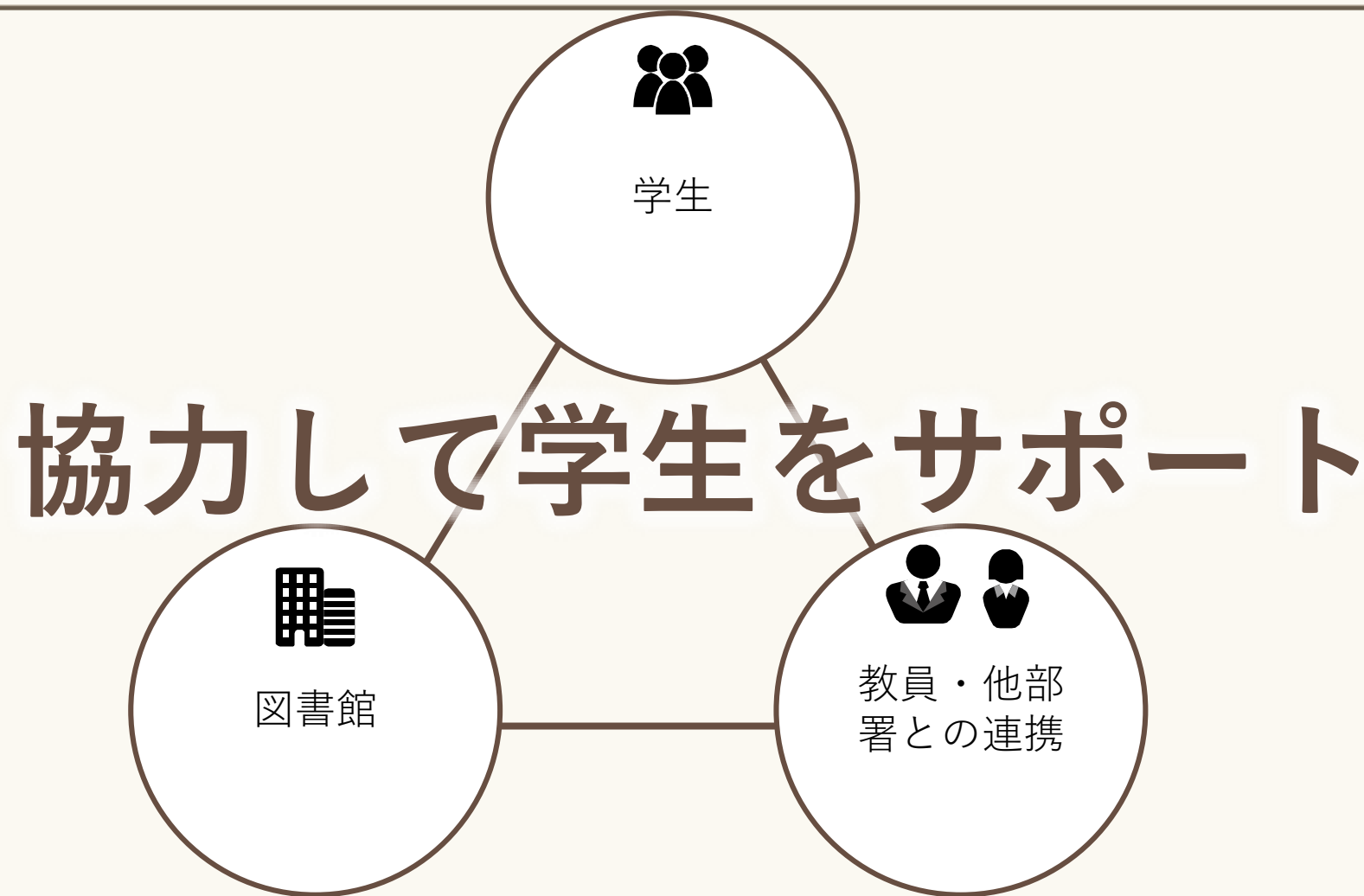


オンライン

対面



4 図書館で45分留学

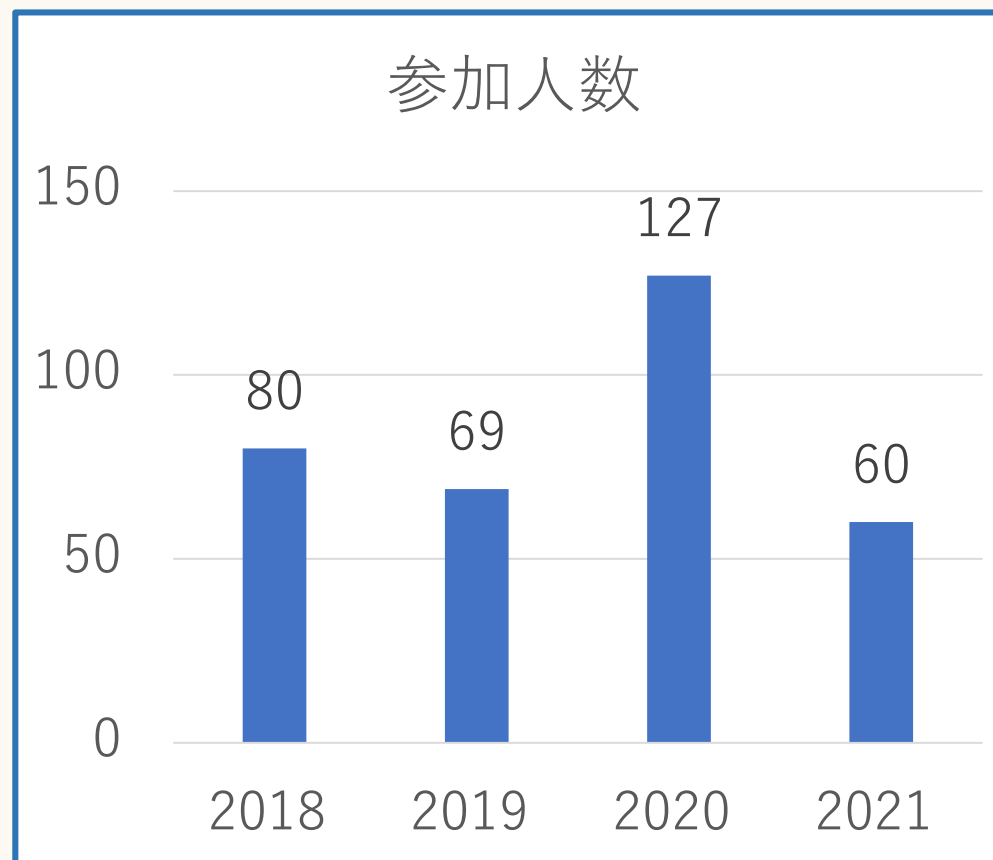


4 図書館で45分留学

図書館で45分留学(2018年4月～2021年10月)

年度	回数	方法	参加者人数 (延べ)
2018	17	対面	80
2019	19	対面	69
2020	17	オンライン	127
2021	9	オンライン	60
累計	62		336

参加人数



4 図書館で45分留学

各セッションのテーマ

Topics (2020)		Topics (2020)	
1	Casual Speech / Slang	10	Planning A Trip
2	Expressing Emotions	11	Hospitality
3	Expressing Opinions	12	Overcoming Challenges
4	Summer Celebration	13	Asking for Advice
5	Meeting New People / Small talk	14	Reading the Room
6	In case you get sick	15	Hobbies
7	Sharing memories / Telling a story	16	Humor
8	Giving Thanks	17	Inviting people out
9	Holidays		

オンラインにおけるメリット／デメリット

メリット



- ・ 場所の制約がなくなったことで他キャンパスの学生も参加可能
- ・ 2020年度先生方は帰国となったが、アメリカと繋いで継続は可能だった
- ・ 感染リスク回避

デメリット



- ・ ブレイクアウトルームで会話の練習をするため全体を見渡すことは難しい
- ・ 全体に言えるものでもブレイクアウトルームにいる場合は全員が集合するまで一旦保留
- ・ その場で仲良くなってもイベント以外でのやり取りに発展しにくい。お互いの連絡先交換をするタイミングがない
- ・ 対面の際は図書館の資料を使ってリサーチをしながら行うことが出来たが、オンラインではそれが難しくなった

4 図書館で異文化交流

「図書館で異文化交流」は2020年コロナ禍においてスタート

【背景】先に述べた「図書館で45分留学」は海外に留学したい学生向けのイベントであるのに対し、その逆の発想で「**図書館で異文化交流**」は日本に留学しているにも関わらず、コロナの影響で入国できず、日本語の勉強も、友達もできずにいる学生のためにスタート。

* コロナの影響ですべての授業がオンラインとなり、以前のように授業と授業の間に交わされるようなクラスメイトとの会話や、ランチの約束などできないまま過ごしているため、少しでも気軽にお話しでき、お互いの文化や習慣についてもシェアできる場があってもいいのではないかという試みで進めています。職員も一緒になって話に入り、アドバイスができる場所はし、また違う観点で職員との交流自体を楽しみにしている学生もいる。

* 現在は月に1回のペースで開催

* 運営に関わる学生が数名おり、テーマ決めやプレゼン、当日のファシリテーションのサポートなども行う。

図書館で異文化交流の様子



4 図書館で異文化交流

図書館で異文化交流(2021)

開催日	オンライン 開催	参加者 人数	テーマ	備考
2021/4/21	ZOOM	8	大学生活における10か条	17:00~18:00
2021/5/19	ZOOM	20	留学・海外旅行・在住経験を通して伝えたい お得情報、そこで起こったあり得ない事件	17:00~18:00
2021/6/16	ZOOM	5	ストレス解消法・支えになっている言葉	17:00~18:00
2021/7/22	ZOOM	5	「お金も時間も自由に使っていいから好きなこと としていいよ」と言われたら何をする？	17:00~18:00
2021/8/25	ZOOM	6	一番のお気に入りの写真、大切な物とそのエピソード	17:00~18:30
2021/9/22	ZOOM	5	モチベーション、どうやって上げる？	17:00~18:00
2021/10/27	開催予定	開催予定	世界の祭	17:00~18:00

5 今後の展望

新型コロナウイルス感染拡大によって社会が大きく変わり、大学図書館でもこれまでとは異なる利用者サービスが求められている。

大学の授業形態にオンラインが追加されたことで、図書館資料の貸出・返却、レファレンスサービス、図書館ガイダンスなど、これまで対面が前提だった利用者サービスがオンラインでも実施されるようになった。

オンラインには学生・教職員双方に場所、移動時間等の制約が解消されるという大きなメリットがあるが、対面にも対面のメリットがあり、双方ともにデメリットもある。

私たち大学図書館員は、これからも学生のニーズをしっかりと受けとめつつ、対面サービス・オンラインサービスを使い分け、より効果的な図書館サービスの提供に努める必要があると考えている。

桜美林大学図書館

ご清聴頂きありがとうございました